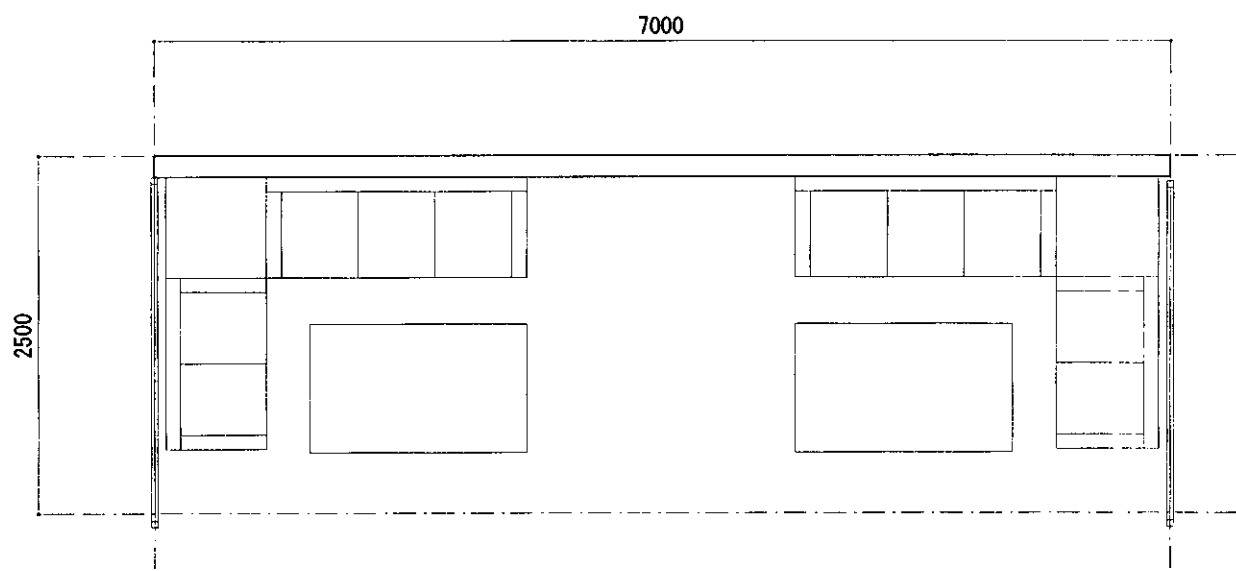


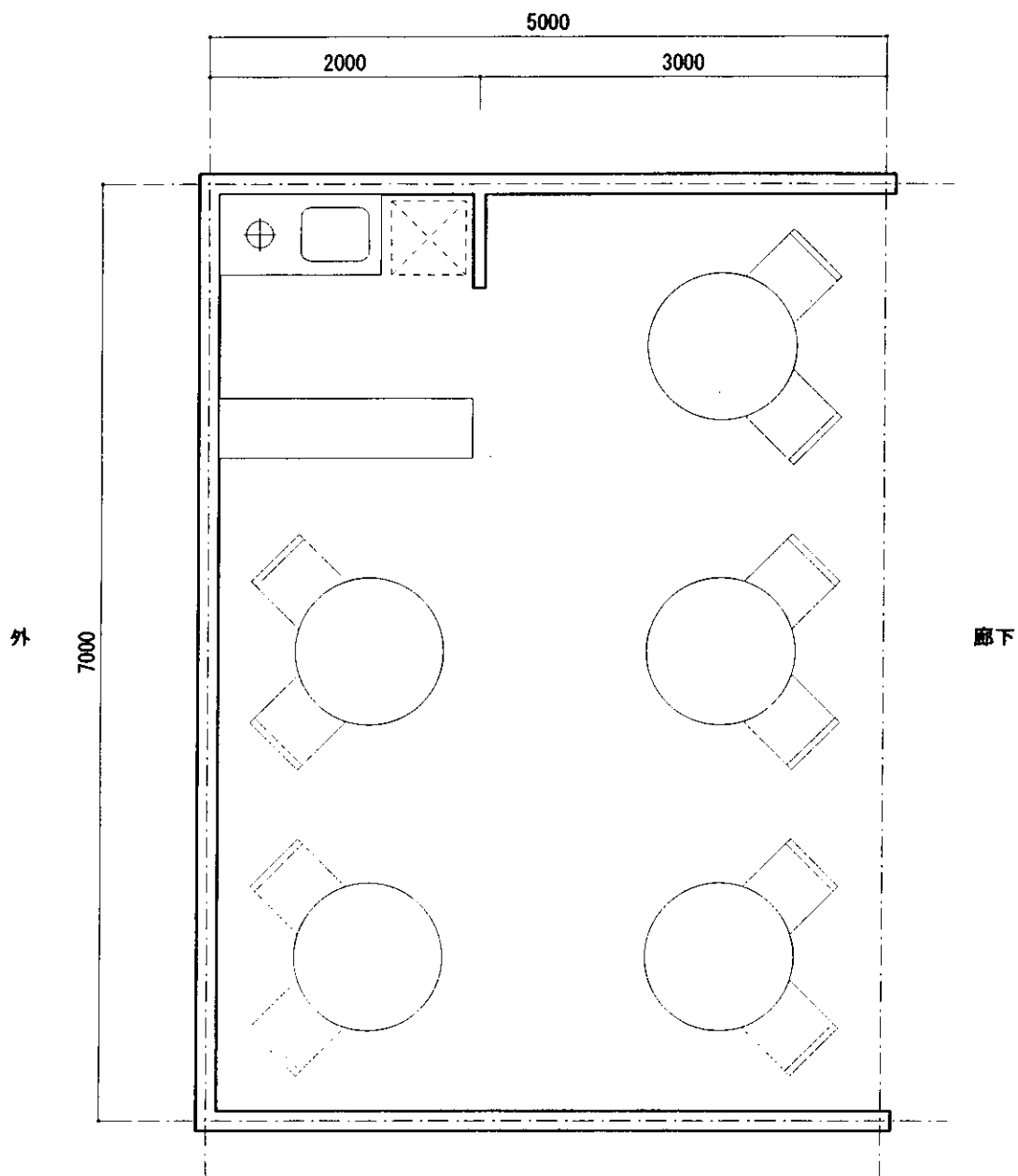
リビング

概要： 視線の交差を避けるため、ソファは基本的にはL字配置とする。



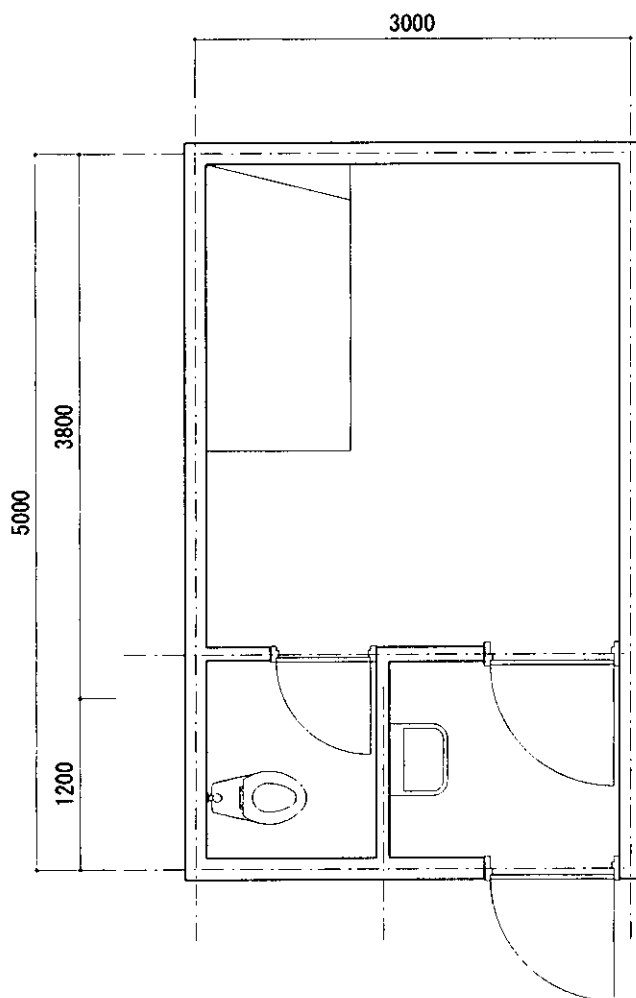
食堂

概要：食堂は一般的に、1人当たりの床面積が1.0~2.0㎡程度で設計される場合が多いが、規模が大きくなるほど1人当たりの床面積は広くなり1.5~3.5㎡程度となる。人同士がぶつかることなどにより発生する小競り合い回避のためにも、通路部分を広く取り、1人当たりの床面積3.5㎡確保する。



隔離室

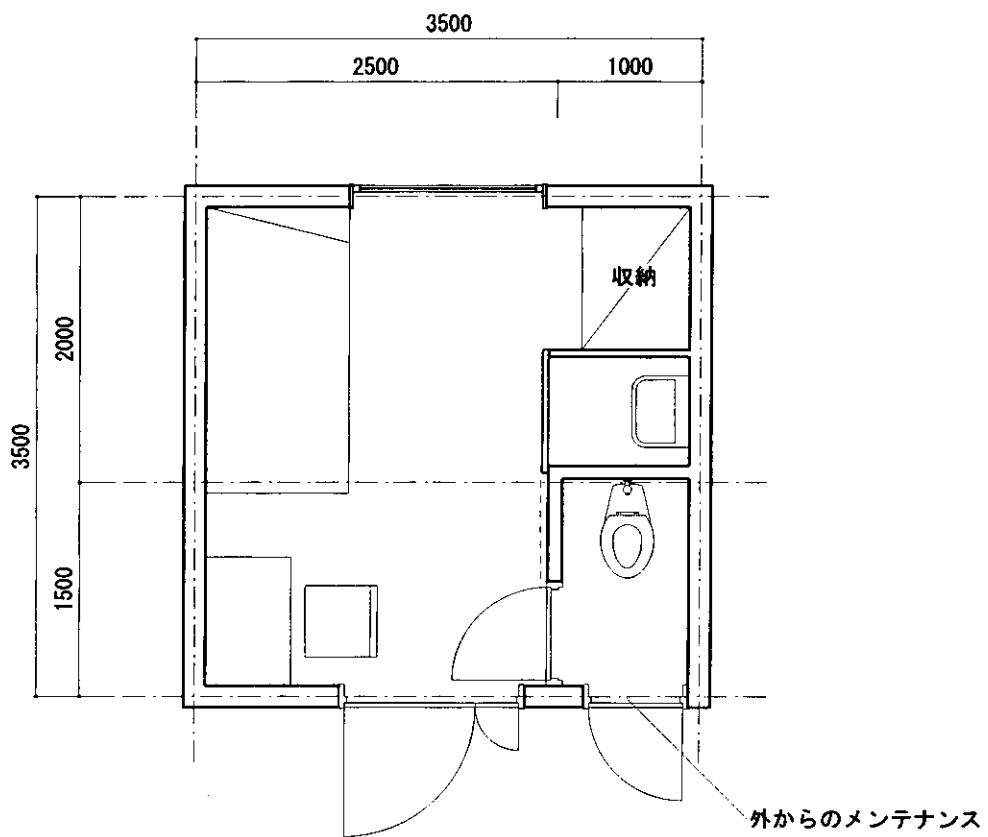
概要： 個室（ベッド、便所）
病室の間口寸法はベッドの幅と扉の寸法を合わせた最小値である。
病室の奥行き寸法はベッドの長さと便所の寸法を合わせた最小値である。
しつらいは患者の状態に合わせ適宜変更可能とする。



一般病室

概要: 個室(ベッド、収納棚、机、椅子、便所、洗面台)

療養が長期にわたることを考慮し、生活のための私的領域を確保する。病室の間口寸法はベッド、扉便所の幅で決まる。病室の奥行き寸法はベッドの長さや収納間口、洗面台幅、便所の寸法の合計値で決まる。車椅子の回転半径(1.5m)が確保できる面積規模とする。



面会室

概要： 面会室の寸法は診察室／面接室にほぼ準じるものとする。

